

議会だより

2018
平成30年8月1日発行
No.28



笑顔の躍動
～満濃中学校運動会～

Contents

工事請負契約の締結
副町長の選任

- 2 6月定例会/第2回臨時会
- 4 平成30年6月定例会
- 6 委員会報告
- 10 10人が町の考えを問う 一般質問
- 16 議会からこんにちは

平成30年6月定例会

開催期間 6月1日～12日（12日間）

一般会計補正予算（案）（第1号）、工事請負契約の締結など7議案の審議を行い原案通り可決。人権擁護委員候補者の推薦等に同意した。

平成30年第2回臨時会

開催日 7月9日

神野公民館の工事請負契約の締結の審議を行い、原案通り可決した。



大規模改修予定の仲南小学校

平成30年度6月補正予算

会 計 名	補 正 額 (追加)	予算総額
一 般 会 計	3507万6000円	113億5707万6000円

平成30年度6月補正の主な内容（一般会計）

事 業 名	目的別名	補正予算額
道路改良工事	土木管理費	2080万円
ネット張替え工事（かりんの丘公園）	都市計画費	850万円
天文台ポンプ交換工事	社会教育費	50万8000円
庁舎玄関改修工事	総務管理費	526万8000円

平成30年6月定例会、第2回臨時会

平成30年6月定例会(会期:平成30年6月1日～12日)	
議案第1号	税条例等の一部改正
議案第2号	工事請負契約の締結(平成30年度仲南小学校校舎棟等大規模改修工事(建築))
議案第3号	町道路線の認定
議案第4号	平成30年度一般会計補正予算(案)(第1号)
議案第5号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)
議案第6号	副町長選任の同意
議案第7号	監査委員(識見を有する委員)選任の同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦
選挙第1号	選挙管理委員及び同補充員の選挙
平成30年第2回臨時会(会期:平成30年7月9日)	
議案第1号	工事請負契約の締結(平成30年度神野公民館整備工事(建築))

●平成30年

6月定例会

即決案件

議案第6号

副町長の選任の同意

四條

○栗田 昭彦 氏

任期 平成34年7月3日まで

議案第7号

監査委員(識見を有する委員)選任の同意

七箇

○尾崎 裕昭 氏

任期 平成34年7月3日まで

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

七箇

○近藤 玲子 氏

造田

○田中 淳 氏



選挙第1号

選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員

吉野下

○秀石 修二 氏

岸上

○横関 保 氏

大口

○中矢 実 氏

造田

○森本まり子 氏

補充員

吉野

○森本 房男 氏

造田

○田中 淳 氏

宮田

○杖池 誠 氏

東高篠

○久留嶋一之 氏

任期 平成34年7月3日まで



付託案件

総務常任委員会付託

教育民生常任委員長、建設経済常任委員長より、各委員会に付託された関係部分の質疑、結果等について、報告を受けた。その後、執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第1号

税条例等の一部改正

地方税法の改正が行われたのに伴い、町税条例等の一部を改正した。

●主な質疑と答弁

【委員】 今後のたばこ税による税収の見通しは。

【執行部】 昨年度の売上をもとにした試算では、4年後に2千万円の増収となるが、現実ではたばこ離れにより5年



今後 60 円の値上がり予定

前と比較して約1千6百万円減収しており今後も更に減り続ける見通しである。

【委員】 中小企業の設備投資に係る固定資産は、これまでどのような取り扱いだったのか。今回の税制改正についての周知方法は。

【執行部】 設備投資については、主に償却資産であり固定資産税となるため評価額の1・4パーセントが税額となる。今回の税制改正では、国

の要件を満たした場合、3年間ゼロになる。周知方法は、中小企業者向けに広報等で行っていく。

議案第4号

一般会計補正予算(案)(第1号)

本庁舎の身体障がい者用駐車場に屋根の整備工事、かりんの丘公園の改修工事など約3千5百万円の増額補正をした。

●主な質疑と答弁

【委員】 琴南、仲南両支所の身体障がい者の駐車場については設置を予定しているのか。

【執行部】 両支所とも身障者用、思いやりスペースの駐車場はあるが、雨天時の対策はできていないため今後、検討する。



教育民生常任委員会付託

仲南小学校校舎棟等大規模改修工事について、現地調査を行ったあと執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第2号

工事請負契約の締結

仲南小学校校舎棟等大規模改修の工事請負契約をした。



雨の日もぬれないように



大規模改修を行う仲南小学校

【契約金額】 金8千6百94万円

【契約相手】

枝園建設 株式会社
代表取締役 枝園裕子

●主な質疑と答弁

【委員】 トイレを改修する際には、天井まで間仕切りをしてはどうか。

【執行部】 子どもの安全面を考えた場合、完全な個室より現状の方が望ましいと考える。町内の学校施設で、中学校を含め天井まで間仕切りしているトイレはない。

議案第5号

国民健康保険特別会計補正予算
(案) (第1号)

美合診療所の心電図検査装置の更新費である。

●主な質疑と答弁

【委員】 購入したいと考えている機器の性能はどのようなものか。また、心電計のメーカーは何社あるのか。

【執行部】 機器の選定については、造田診療所において平成28年度に



心電図検査装置が新しくなる美合診療所

整備した同等機種と携帯用的小型心電計との互換性を考慮し、医師と協議しながら決定したいと考えている。心電計の主なメーカーは全国で3社ほどである。



建設経済常任委員会付託

まんのう町道路線の認定について現地確認を行ったあと、執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第3号

町道路線の認定

吉野下字西田井
地内で西田井支線
約72メートルを認定した。

●主な質疑と答弁

【委員】 道路改良工事は、その地域の方に、ほ場整備の意向を打診しながら進めた方がより利便性のある道が整備できるのではないか。

【執行部】 今後、町道等の改良工事が要望として上り、



町道西田井支線（吉野下）

地域の方の意見を聴取する際にはそういった取り組みを進めていきたい。



●平成30年

第2回臨時会

即決案件

議案第1号

工事請負契約の締結

神野公民館整備工事である。

【契約金額】金1億4百76万円

【契約相手】

まんのう経常建設共同企業体

代表者 株式会社七箇工業

代表取締役 山下美博



駐車場の一部が神野公民館になる

総務常任委員会

●選挙投票所

●国営讃岐まんのう公園

●固定資産税

選挙投票所

場所はわかりやすく
投票はしやすく

【委員】新しい名称の投票所は、場所が判りにくい。

【総務課長】全ての投票所について判りやすいように、啓発に努める。

【委員】靴を脱がなければ、投票できない所があるが。

【総務課長】基本的にはシートを敷き、靴のまま上がれるようにしている。

【委員】琴南支所で期日前投票が出来ないか。

【総務課長】数や配置も含めて、全体的に考えたい。



選挙当日は投票所になる

国営讃岐まんのう公園

負担減で
入園者増に

【委員】※入園無料のイベント時には、駐車料金も無料に出来ないか。

【企画観光課長】有料が支障となり、地元の者でも利用しにくい事は、承知している。各種会合等の場で問題提起したい。

固定資産税

徴収不能件数は

【委員】空き家の固定資産税の徴収不可能な件数はどれくらいか。
【税務課長】空き家と判断するのはむずかしい。固定資産税全体の徴収不能件数は20件程度である。

※・春らんまんフェスタまんのう町の日・かりんまつり



町イベント時には無料にならないか

教育民生常任委員会

●マイナンバーカード ●資源ゴミ ●健康づくり ●子どもの支援、保護者の支援

マイナンバーカード

普及の促進のために

【委員】 マイナンバーカードの普及状況は。マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付は可能となるか。

【住民生活課長】 4月末現在1,382枚発行。来年4月より、マイナンバーカードの利用により、戸籍、住民票、印鑑証明がコンビニでも交付が可能になる。

資源ゴミ

資源ゴミで収入をアップに

【委員】 資源ごみの量が減ったのに収入が増えたのはなぜか。

【住民生活課長】 紙の単価が上がった関係で収支としてプラスになった。

出来るだけ町に出すよう広報等で呼びかけている。



資源ゴミは町の宝

健康づくり

健康寿命をのばすため



自分の健康を守るため

【委員】 特定健診受診率は県下でどのくらいか。

【健康増進課長】 平成27年度の特健診受診率は54.4パーセントで県下でも上位である。健康手帳、一日人間ドック、訪問指導、健康教育、健康診査等に力を入れて取り組んでいる。本町は、集団検診を実施していることも受診率アップに繋がっていると考えている。

子どもの支援、保護者の支援

多面的支援で地域を支える

【委員】 教育支援機構で「早期支援教育センター（多夢）」、「適応支援センター（育夢）」、「少年育成センター（来夢）」があるが、どんな相談に応じどのように機能を果たしているか。

【学校教育課長】 一年前より、教育委員会だより「爽風」という広報誌を発行している。その中で教育委員会や特別支援機構の仕事の内容など特集を組んで発信している。



再活用で「育夢」「来夢」が入っている旧仲南北小学校

建設経済常任委員会

●地籍調査 ●地方創生 ●空き家 ●サルの対策

現場視察

※5月18日、町道杉の上秀石2号線改良事業、町道榎林佐岡線改良事業、町道片岡線改良事業、団体営中山間地域所得向上支援事業追上地区の現地視察を行った。



町道片岡線改良事業 4m→6mに拡幅

地籍調査

調査により
正確な土地情報を保存

【委員】 報告書の中に現地確認不能403筆とあるが、どういふことなのか。

【地籍調査課長】

県道や町道の中などにあり、その位置の特定や測量はできないが名義は残る土地のことである。

【委員】 隣接地との面積等で土地所有者より後日に異議の申し出があった場合、訂正は可能か。

【地籍調査課長】

現地調査と測量により作成した地籍簿と地籍図を土地所有者に閲覧してもらう時であれば、再調査を行うことができる。

地方創生

ひまわりで町おこし



ハトに負けない、ひまわり作り

【委員】 種を植えた後、ハト等の鳥獣被害で全滅して収穫できなかった場合、補償はどうなるのか。

【農林課長】

天候不順の場合は補償を検討するとしているが、鳥獣被害についても播種に必要な経費程度は、今後検討する必要がある。

【委員】 ひまわりが全滅した場合、商品の安定供給については、どのように考えているのか。

【農林課長】

昨年、収穫した種子の保存が10トン以上あるため今年の供給については問題がない。

空き家

実態調査終わる

【委員】 結果報告書で「空き家バンクなどの活用促進が望まれる」といった調査会社からの意見に対し、町としてはどのような対策を考えているのか。

【建設土地改良課長】

空き家バンクは企画観光課が担当であるが、収集したデータの調査結果をもとに、条件の整った空き家を選び出して「まんのう町空き家等

登録制度」を活用していくよう考えている。



利活用が望まれる空き家

サルの対策

モデルガン

【委員】 サル対策のモデルガンについて、くわしい説明を求める。

【農林課長】

有害鳥獣防止対策研修で、専門家によるモデルガンを使つての講習があった。モデルガンは、30メートル離れた所から撃つても威力があり効果は十分でサルは逃げる。銃の値段は弾を含めて3万円程である。

まんのう町議会 タブレット端末導入

平成 30 年 2 月所管事務調査の各常任委員会より紙とタブレットの並行運用が開始

導入目的

1. 議会のペーパーレス化
2. 議員と事務局との連絡の効率化
3. 議員活動の充実
 - ・カメラ機能で現場等の確認
 - ・地図機能で現場の確認
 - ・情報検索でネットを使って情報収集
 - ・膨大な資料の中から必要なページを検索
4. 書類等の収納スペースのスリム化
 - ・議会資料など保管場所を必要最小限にできる
5. 資料や議案書等の製本作業の軽減
 - ・用紙やコピー費用など経費の削減
 - ・資料の修正等の場合、さしかえ作業が不要

まだ導入したばかりで各議員が基本機能の習得にむけ努力をしているところですが、将来的には※ICTの多角的な活用を図り議会力を発揮できるよう取り組んでいきたいと考えています。

※ICT(情報通信技術)



取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。



満濃中学校



黒板アートで卒業おめでとう

南小学校



力走

宮田地区



防災訓練
非常食の試食

仲南小学校



見守りボランティア

満濃池



田植えにGOサイン

議員名	質問内容	関連ページ
たけばやし まさひで 竹林 昌秀	・ 農業振興計画の改定の日程と手法を問う ・ 空き家対策の現状報告を求めて、それへの対策を問う ・ 退職者層が耕作者として、営農を継続できるような助成制度の確立を求める	P11
きょうかね あいこ 京兼 愛子	・ 高篠ふれあいセンターの建て替えについて	P11
まつした かすみ 松下 一美	・ 買物支援事業を問う ・ 空き家調査の経過を問う	P12
しらかわ まさき 白川 正樹	・ 登下校の安全確保を問う	P12
みよし かつとし 三好 勝利	・ 琴電四條駅の設置計画を考えてみてはどうか ・ 農地から工業地、商業地、その他に変更する場合の許認可についてその後どうか ・ 今後の農業政策に関して問う	P13
つねかね めぐみ 常包 恵	・ 教育費負担の軽減（若者の移住、定住策の一つとして） ・ 職員の働き方改革と財源確保 ・ 自転車の安全利用と交通安全対策	P13
すすき たかひろ 鈴木 崇容	・ 合併特例期間について ・ 高齢者の福祉と介護問題について	P14
こやま なおき 小山 直樹	・ 町長の今後の政治姿勢について ・ 町民のくらしと健康を守る立場から公約の実現を求める	P14
かわはら しげゆき 川原 茂行	・ 農業振興 ・ 森林環境税の計画	P15
おおにし ゆたか 大西 豊	・ 路線バスの巡回型ルートの構築 ・ 町債の現状及び将来の見込み	P15

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

6月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。



京兼 愛子 議員

高篠ふれあいセンター

高篠ふれあい
センターの
建て替えを。

問 建て替えをしてはどうか

答 改築の基本設計について協議していく

京兼 高篠ふれあいセンターの元となる建物は、平成12年度に元被服会社を建物ごと町が購入。平成13年2月28日に改修工事を完了し現在に至っている。耐震性が確保されていない補強工事も難しい建物。地域住民にとって高篠小放課後児童クラブの使用、高篠地区避難場所に指定され、憩いの場にもなっている大切な場所である。建て替えこそが安心・安全のまちづくりではないか。早急に実現できるように検討をお願いしたい。

町長 高篠ふれあいセンターは、高齢者及び児童を中心に広く地域住民の教養の向上、レクリエーション等の場とし、地域住民の心身の健康の増進を図ることを目的に設置した拠点施設であり、防災としての避難場所指定もしており、大変重要な施設である。本施設は昭和48年に建築した建物を一部改修したものであり、耐震性を有しない可能性が高いと思われることから、平成29年度に耐震診断を実施した。その結果、「耐震判定値を満たしていない」との評価結果となり、耐震補強の検討も行ったが、もともと民間の工場で、資料が少ないことや現地調査で図面記載と調査部の内容に相違があったり、施行方法にも不備が見られ、未調査部分の状態によっては、計画耐力数値の確保に正確性が低いことや耐震補強工事の費用が多額であることから本施設の建て替えを推奨する報告があった。安心して使用するためには、改築工事を行うことが妥当である。

そこで、本年度には高篠公民館運営審議会を中心に高篠ふれあいセンター改築の基本設計について、協議していきたい。



改築が望まれる高篠ふれあいセンター

生産拡大の作戦

問 農業振興計画を問う

答 調査し、検討する

竹林 現行は地域指定と助成する作物指定だけだ。生産目標、それを実現する手立てを掲げねばならぬ。

町長 本年度から策定する。県内はどこもそうだが、計画内容の類例を調査する。

新法下の農委の研究で

竹林 新体制の農業委員会がこの調査と研究を担い、展望を切り開けぬか。

町長 持ちかけて、提案する。

竹林 生産振興の作戦が要る。耕作者の確保、産直市出荷の拡大、新たな作物栽培のための苗木への助成も盛り込みたい。

町長 内部で検討からだ。

竹林 JA、普及センターとの協議だけでなく、生産や流通の専門家を加えたい。

町長 編成と人選とのご支援を得たい。

耕作者の人数の確保

問 退職者層の営農継続支援策が要る

答 担い手三原則でやる

竹林 認定農業者は増えぬ。法人営農も集落営農も遅々だ。年齢と経営要件を緩める町独自策を求める。5年くらいの時限措置で十分だ。

町長 国と県の施策を遂行する。

竹林 中古農機具も助成対象にすべきだ。買い換え支援にしたい。

町長 類例も無く、難しい。

竹林 小規模の農地災害復旧の助成も要る。

町長 他の産業支援との調整もある。

竹林 まずは人数だ。過疎法で基金の設立できる。

町長 未検討だ。これからとなる。

手立てを
研究したい。



竹林 昌秀 議員



登下校の安全

登下校の
安全確保は。

問 登下校で被害に遭わない 対策は

答 警察署など関係機関との
連携を行い、情報を共有

白川 ①各学校の登下校の様子は把握できているか。
②不審者情報はどのような方法で保護者に連絡しているのか。
③各学校の登下校の見守りはどのようになっているのか。
④新潟の事件後、教育委員会、各小、中学校では対応策の会合を設けたか。

教育長 ①高篠、長炭小学校以外は集団登校。仲南小学校はバス通学と集団登校。四条小学校は集団下校、その他は毎水曜日に集団下校。常日頃より小中学校、少年育成センターと情報を共有し、児童生徒の登下校の様子を把握して問題のある場合は、対応が出来る体制を取っている。
②学校、香川県警からの情報は、少年育成センター、琴平警察署、総務課と共有している。注意を要する情報は、教育委員会や各学校から保護者あてに、メール配信している。
③各学校は毎月5日と、毎月20日の交通安全日、春と秋、年末年始の交通安全期間中に、職員と保護者が町内通学路の要所で立哨している。
④5月14日付けで児童生徒の危険予知能力や回避能力を身に付けるための安全教育、不審者等に関する情報の共有、警察との連携、などを改めてお願いした。各学校は、出来るだけ複数で下校すること、危険を感じたら助けを求めること、下校時の巡回指導なども行うことを再確認した。



雨の日も晴れの日も“見まもります”

買い物支援

問 過疎地区以外でも切実な 問題である。アンケートを

答 十分検討を重ねたい

松下 平成25年度に商工会と会員事業者との連携により、町の補助金を受け、仲南地区の高齢者等に、食料品、日用品の移動販売や宅配等が実施されている。平成27年度からは琴南地区でも実施され大変好評である。今後満濃地区にも拡大できないものか。町民の方からの要望も多くアンケートを取るべきではないのか。

町長 過去にアンケートを行ったが実施には至らなかった。当時から6年が経過し、高齢化が進んでいる。買い物弱者は過疎地以外でも増加していることから、今後の対策や実施方法について商工会と充分検討を重ねていきたい。



買物は生活の楽しみ

空き家

問 調査結果を活かし官民連携で活用を

答 効果的活用につなげたい

松下 6月定例会において、町長の施政方針が示され、建設経済常任委員会でも報告されたが、空き家等の件数は639件との調査結果が出ている。民泊、移住に利用できるもの、あるいは古民家として活用できるものなどは、官民が連携しながら活用を進めていくべきかと思うが町長の所見を問う。

町長 調査結果に基づき、徳島県神山町の空き家改修プロジェクトや、多度津町などでも、官民がさまざまな取り組みを行い効果をあげている。今後、空き家の効果的な活用につなげていきたい。



管理の良い古民家

空き家の
有効活用を。



松下 一美 議員



子育て環境の充実を。

子育て環境

問 移住・定住策として 教育費軽減を

答 教育費負担の軽減に努力

常包 内閣府の調査によると、若いご夫婦は理想の子ども数を持つために、将来の教育費の補助、幼稚園・保育所の補助を求めている。町独自の奨学金について、給付型制度の新設を求める。平成30年度町長の施政方針で「就学前の子供の給食費の無償化等子どもの貧困化対策を鋭意検討」とある。「子どもは社会の宝」若者の住宅取得補助金と同様に、少子化対策の一つとして独自の判断を求める。

教育長 中学校までの子どもの給食費を無償化すると約7,500万円必要。5月末発表された国の案（来年10月実施）の対象外となる子どもが約220人、保育



子どもは社会の宝～こども園～

料を無償化すると、年間約3,600万円必要となる。利用者の公平性も考慮し、前向きに検討する。給付型奨学金については、踏み込んだ検討ができていない。

自転車も車両、安全利用を

問 損害賠償保険へ加入を

答 一層の周知・啓発を行う

常包 4月、香川県自転車の安全利用に関する条例が施行された。条例では、損害賠償保険加入が努力義務とされた。全国では、1億円近い賠償を求められる事案もあり、加入を義務化した条例も作られている。児童、生徒、町民へ啓発、加入を勧めるべき。

町長 痛ましい事故を起こさないよう警察署、関係機関と連携し一層の啓発を行う。

新駅設置

問 まんのう町に新駅を

答 近隣市町とも協議

三好 通勤者の利便性の向上、人口減少や人口流出の歯止め対策として、四條駅の新設はできないか。

町長 琴電の新駅設置は、駅周辺の開発や付近の住宅開発などにつながり、人口減少・人口流出の歯止め対策として効果があると考えている。課題は、新駅と駐車場の用地問題や駅間とこう配の物理的・技術的問題、停車駅増加に伴う所要時間の延長、近隣駅の移設または統合問題等があり、関係交通機関、地権者、利用者、近隣市町と十分な協議・調整が不可欠である。約10年前に地域公共交通協議会が町内1,000世帯を対象に新駅についてアンケートを実施したところ新設を望む意見は少数だったが、徐々に生活環境が変化しており、新駅には新たな人の流れと経済効果など多くのメリットが見込まれることから引き続き関係機関と協議を行いたい。



まんのう町に二つ目のコトデン駅を

新駅
(高松琴平電気鉄道)
設置を。



三好 勝利 議員

町長の政治姿勢は。

小山 直樹 議員

町長の政治姿勢

問 『核兵器禁止条約』を問う

答 私は支持したい

小山 国連が進めている『核兵器禁止条約』が、近く発効されるが、町として『非核の町』を宣言する気はないか。

町長 合併後は『非核・平和宣言』の執行部側の決議をしていない。旧満濃町では決議があった。私は非核三原則を堅持し、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを世界の人々に訴えたと共に周辺各国と連携し、一步ずつ着実に核軍縮、不拡散を進めていくことが重要であると考えている。

国保の負担軽減を

問 他の健康保険に比べ国保は高すぎる

答 社会保障は給付減、負担増になる

小山 今や『社会的弱者の医療制度』である国保の『構造問題』の解決に努力し、町民の負担増を食い止めて欲しい。均等割りは町の掲げる少子化対策と矛盾する。他の健康保険に比べて2倍ほどの負担額であり、生活を脅かしている。

町長 4月から『国保の都道府県単位化』が始まった。経済財政諮問会議で今後の社会保障の見通しが示されたことを受け、政府では、給付を抑え負担を増やす方向で議論がされている。

期間延長

問 合併特例期間について

答 国に延長要望をあげたい

鈴木 地方交付税の合併特例措置の期限が迫っているが、今後どうするのか。

町長 合併特例措置の期間は、平成33年で終了するが、近隣の合併している市町で、合併特例期間の延長を要望する動きや、機会があれば積極的に県を通じて、国に延長要望をあげていく。

問 行政運営のスリム化とは具体的に何か

答 28年度から49年度までの
中長期財政計画策定

鈴木 具体策を詳しく。

町長 ①自主財源の確保。

②人件費、物件費、補助費、繰出金、経営経費削減。

③歳出を削減し財源に優先順位をつける。

④民間で、できるサービスは民間委託する。

⑤地方債発行は抑制し必要な事業財源は合併特例債、過疎対策事業債を活用。

⑥大型施設整備事業は、適正な規模に精査する。

このように、効率かつ効果的なスリム化に努め、財政健全化をする。

高齢者対策

問 高齢者の福祉と介護は

答 高齢化率を考慮し検討する

鈴木 在宅介護希望者の対策は。

町長 在宅介護アンケートでは、介護が必要になった時、在宅を希望される方が74%になり、在宅の施策は重要な課題と考えている。国勢調査人口推計では、平成37年には現在に比べて1,500人程度減少する。高齢化率は38.9%上昇すると推計される。このような背景も考慮に入れ施策を検討する必要がある。

高齢者に希望を。

鈴木 崇容 議員



効率の良い
公共交通
システムを。

住民のニーズに寄り添う効率の良い公共交通システム

問 路線バスの 巡回型ルートの構築

答 公共交通サービスを
有機的かつ効果的に運行

大西 旧3町間の公共施設、病院、道の駅、スーパーなどを巡回する路線バスの巡回型ルートの構築をと、これまでの議会でも提案してきた。これからは、路線バスと福祉バス、デマンドタクシー等の連携を密にし、通勤・通学の時間帯には利用者の利便性を図ることにより、持続可能な公共交通システムの構築が急務である。

町長 現在まんのう町内の路線バスは、琴参バスが2路線運行、美合線はJR琴平駅から川奥・下福家間を、炭所線はJR琴平駅から広袖間を、炭所線については、現在県の補助を受けて運行し今年の10月でその措置も終了。そこで、琴参バスから炭所線の路線バスの運行について、利用者は通勤・通学者の時間帯がメインであり、昼間の時間帯を巡回バスとして、丸亀コミュニティバスの東高篠のバス停や、琴電羽間駅など他の交通機関と連携ルートの提案を受けており、変化する利用者のニーズを調査、数値化し、バス事業者やタクシー事業者等と協議を行い、公共交通サービスを有機的かつ効果的に運行していけるように検討を重ねて行く。

《平成28年度 町負担金約1億円の内訳》

デマンドタクシー	3, 810万円
路線バス	2, 210万円
スクールバス	2, 440万円
かりんバス	520万円
福祉バス	350万円
福祉タクシー	310万円
高校生通学補助	120万円
満濃中学校マイクロバス	170万円
公用車	約130台（内マイクロバス約13台）

農業振興

問 現場の声を

答 前向きに進めたい

川原 農業立町「まんのう」、農家の収入を増やすという考えを当然、持つべきではないか。

認定農業者、町、農協、普及所で協議会を立ち上げて、現場の方の意見を聞くことが一番ではないか。

町長 何人かの認定農業者の方、その関係者の方の生の現場の声を聞くというのは非常に大事なことだと思う。前向きに進めたいと思う。

川原 ひまわりの鳥獣被害、生産者の意欲を減退さすような対処の仕方にはならないようにしてほしい。

町長 来年度以降の作付に、影響が出ない金額を協議会の中で考慮してまいりたいと思う。



ひまわりで町に活気がみなぎる。



生産者の
意欲が大切。



防災訓練

みんなで力を合わせて

命と地域を守る



一本のロープが命綱

6月17日、災害時の情報連絡体制や避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的として、宮田地区（旧仲南町）において土砂災害が発生したとの想定のもと、防災訓練が実施されました。

訓練には、子どもから高齢者まで、多くの地域住民の皆さん、消防団員等、127人が参加し、真剣に避難訓練や非常食作りに取り組んでいました。



災害時にも温かい食べ物を

災害規模が大きくなればなるほど力を合わせて助け合
い自分たちの
地域を自分た
ちで守ること
が必要となり
ます。今回の
取材では平時
より地域での
協力態勢を作
っておくこと
の重要性を痛
感しました。

避難訓練では、全員で一本の長いロープを持ち、集団で避難する場合には、歩行速度は一番遅い人（高齢者や子ども等）に合わせ、先頭の人は、常に最後尾の状況を確認しながら避難するなど具体的に学びながら訓練を行っていました。

非常食作りでは、電気炊飯器の使用ができず、飲料水が充分に無いなどの制限された状況でも、ビニール袋を利用し、ご飯を炊く方法を実習。大人たちにまじり、子どももビニール袋の中に決められた量のお米と水を入れる作業などに一生懸命取り組んでいました。

あとかぎ

編集副委員長 鈴木 崇容
たかひろ

夏が到来し、日に日に暑さを感じる毎日です。私たち議員も日々町の発展の為、努力しています。町民の皆さまの声を形にするのが、私たちの仕事。また、解りやすく文章にしたのが、この「議会だより」です。

毎号読みやすく作っていきますので、宜しくお願いします。

議会広報特別委員会

委員長 白川 正樹
副委員長 鈴木 崇容
委員 松下一美
委員 川西米希子
委員 京兼 愛子
委員 常包 恵

今号の表紙
笑顔の躍動
満濃中学校運動会

かつては秋の風物詩であったが、現在では春が多い。気候が涼しく熱中症などの影響が少ないことや台風や秋雨と言った天候による順延・中止を避けるため開催する学校が多くなった。満濃中も5月に開催された。一致団結、創作ダンスも長縄跳びも青春の想い出になるだろう。



息を合わせて ジャンプ

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。
配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109 まで



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。